

新入社員に贈る言葉

大胆に挑戦する攻めの姿勢で
面白いことやってやろう！

4月1日、大阪本社で行われた入社式で、藤田社長から新入社員に贈られたメッセージを紹介する。

春の陽気が心地よい季節となつてまいりました。本日ここに入社式を挙行し、皆さんを新たな仲間として迎えることができますことを、大変うれしく思います。

新入社員の皆さん、あらためまして、入社おめでとうござい



チャレンジ精神は
クラボウの遺伝子

当社は、日本が近代国家として歩み始めて間もない1888(明治21)年、現在の岡山県倉敷市に誕生いたしました。

当時、疲弊していた倉敷に、新たな産業として紡績事業を興すという、熱き想いを持った3人の青年が描く明るい未来図に感銘を受けた、当社初代社長大原孝四郎の支援によって「有限責任倉敷紡績所」が創設され、今年で136周年を迎えました。

繊維事業を祖業として始まった当社は、その後、明治、大正、昭和、平成、令和という五つの時代の経過とともに、化成品や環境メカトロニクス、食品・サービス、不動産活用へと事業領域を広げ、業容を拡大してまい



りました。

また、日本で最初の私立の西洋美術館である大原美術館や、労働面での課題解決に向けた大原記念労働科学研究所、そして自社の従業員のためだけでなく、地域にも開放された医療機関である倉敷中央病院の設立なども行つてまいりました。

これらは、企業が長期にわたつて持続的な成長を目指すために、現在、ステークホルダーが重要視している三つの要素「環境 (Environment)」、「社会 (Social)」、「企業統治 (Governance)」の頭文字を取ったESGや、持続可能な開発目標であるSDGsにも通ずるものであり、当社では既に100年以上前から世の中に先駆けて、社会貢献活動に積極的に取り組んできたと言えます。

これらが示す、新たなことに取り組むチャレンジ精神は、初代社長大原孝四郎が語った言葉「やる可し、大いにやる可し」に象徴される、クラボウの大切な遺伝子です。この遺伝子を再認識するため、私は、今から6年前の創立130周年に際し、

「失敗することや変わることを恐れず、一人一人がどんなことにも好奇心を持って挑戦・実行する」という決意を込めて、従業員の方々には「さあ、面白いことやってやろう。」というメッセージを発信いたしました。

現在、社会は、世界各地で地政学的リスクに伴うさまざまな影響が顕在化しているものの、世界経済はアフターコロナでの新たな転換期を迎え、日本経済も明らかに回復基調となつております。当社グループも、従来以上に「積極的な攻めの企業運営」を推進するため、従業員一人一人が大胆に挑戦する、「攻めの姿勢」が重要となります。

しかし現代は、先行きが極めて不透明なVUCAの時代でもあります。このような環境において積極的に攻めるには、過去の総括や現状分析をしっかり行うことで、変化に応じた複数の対応策を、事前に検討、準備することが不可欠です。これにより、急激な変化に対しても、冷静かつ迅速に対処でき、ビジネ

ス上のリスクがチャンスに転換されるのです。

皆さんには、136年の歴史の中で社会に貢献してきたクラボウのDNAを学び、受け継いでいくとともに、「創造性に溢れた積極的で大胆な攻めの姿勢」で、何ごとにも「面白がつて」業務にあたっていただけることを期待しています。

**「三つのキーワード
「守って、壊して、創って」**

さて、私は社長就任当初からクラボウグループの皆さんに、「守って、壊して、創って」というキーワードをお話しています。新入社員の皆さんにも、この「守って、壊して、創って」を知っていただくため、三つのお願いをいたします。

**ルールを遵守し
信頼され期待に応える人に**

まず一つ目の「守って」という観点からのお願いは、「社会や会社のルールを遵守し、良識を持って行動する」ということです。

企業人となった皆さんは、CSRを常に念頭において行動しなければなりません。CSRとは、企業の社会的責任のことであり、具体的には、法令や企業倫理の遵守、環境への配慮などの面で、ステークホルダーや社会全体からの期待に応え、信頼されるための企業活動のことです。

企業が社会から存在価値を認められるための土台となるのは、コンプライアンス、すなわち「世の中に存在する法令を遵守した上で、社会規範に従い、公正で健全な経営を行うこと」です。

「不正行為は絶対にしない、させない、見逃さない」を徹底し、日々の業務に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

また、メーカーであるクラボウには、国内外に複数の工場や事業所があり、それぞれの現場や設備ごとに、安全のために遵守すべきルールがあります。

「安全はすべてに優先する」ことを忘れず、今後の工場実習や配属の際には、「職場における業務上災害はもちろん、通勤時や休日の交通災害も絶対に発生

させない」ことを強く意識してください。

**「壊して」の始まりは
自分の意見を発信すること**

二つ目の「壊して」という観点からのお願いは「物事を主体的に考え、自分の意見を持ち、自ら発信する」ということです。

社会人になると、初めて聞きすぎるものがたくさんあるはずですが、仕事に取り組むときには、まずは、仕事の目的や背景、これまでの経緯をしっかりと理解してください。その上で、教えられた内容をそのまま受け入れるのではなく、自分なりの意見を持ち、何か違う考え方ややり方に気づいたら、それを上司や先輩に発信してみてください。

初めは、意見を言うことに勇気が要ると思いますが、上司や先輩は皆さんの話を聞き、フォローしてくれまますので、恐れることなく自分の考えを伝え、「面白がつて」大胆かつ積極的に挑戦してください。

皆さんの新しい発想やフレッシュな感性は、新しいことを生

み出す原動力です。一方で、常に相手の意見やアイデアを理解し、尊重することも忘れないでください。

皆さんが、従来の慣習を「壊して」新しい価値を創造することで、クラボウの「進歩」につながるきっかけとなることを期待しています。



個性を互いに尊重し認め合い
新しい価値を創造する

三つ目の「創って」という観点からのお願いは、「多様な個性・価値観を受け入れ、新たなイノベーションを生み出す」ということです。

当社では、「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（以下、DE&I）」を重要な経営戦略と位置づけ、すべての社員が活躍できる企業風土づくりを推進しています。

「ダイバーシティ」とは多様な個性、「エクイティ」とは受け入れる、という意味です。「多様な個性を互いに尊重しあい、認め合うことで、共に活躍・成長できる職場環境・風土を築く」とはもちろん、一人一人が自分の個性・強みを発揮することで、新しい価値を創造し、より良い未来社会づくりに貢献する」これが、クラボウのDE&Iの考え方です。

当社の社是「同心戮力」とは、一人一人の働きや才能が異なっても、目的を達成するため

に、皆が心を一つにして、お互いに力を合わせて協力することが重要であるという意味で、社内の和と団結を第一とし、社員の内力を十二分に発揮できる環境づくりを目指して、初代社長大原孝四郎が掲げた言葉です。

この社是が示すとおり、クラボウグループでは創業当初から今日のDE&Iに通じる考え方を大切にしてきました。私たちは、この風土を未来に受け継いでいかなければなりません。皆さんもお互いを尊重し、認め合い、配慮し、全ての社員がその能力を最大限に発揮できる会社にしていただきたいと思えます。今日は皆さんにとって、社会人としての第一歩を踏み出すと同時に、同期というかけがえない仲間を得た日でもあります。今日から始まる約2カ月半にわたる導入教育・工場実習などを通じて、クラボウを発展させる同志として、お互いに切磋琢磨しながら絆を深めてください。若さ溢れる皆さんを見ていますと、とても頼もしく感じるとともに、私自身も活力を得て明るく前向きな気持ちになります。

皆さんが、今感じているであろう、熱い想いや夢、目標をこれからも持ち続け、当社グループの発展に存分に力を発揮していただくことを心より期待して、私の訓示といたします。

（文責在記者）



▲ 橋村さん（商品開発課）が今後の成長を誓った



2024年
1月～3月の
参加者は
累計 **122人**



寄贈枚数は
1200枚
となりました！



来月もご協力
お願いします！



10-100プロジェクト
10-100プロジェクト実行委員会
（人事部・総務部・庶務課事務局）

10人の
気持ちが
100人の
笑顔に。

清掃活動参加者10人ごとに
クレンゼタオルハンカチを
100枚寄贈します。

